

やまびこ

湯山小学校発行 11号 2025.3.24

オンリーワンの6年生

校長 高月 知代

記念すべき151周年目の令和6年度卒業生。入学式は、いわゆる当たり前に行えました。1年生の終わりに想定外の臨時休校。それから6年生を送る会をはじめ、それまで当たり前に行われていたいろいろな行事が開催中止や規模縮小となりました。昨年度5月8日以降のコロナ5類移行から制限が緩和され、今年度も6年生を送る会が盛大な6年生を送る会ができました。心を込めて準備・練習・プレゼント作り、そして発表をした1年生から5年生。その思いをしっかりと受け取り巣立っていく6年生。リアルな関わりの体験の教育効果の大きさを改めて実感しています。

そして、オンリーワンの卒業プロジェクト。小学生と市長のタウンミーティングにおける提案（全校から募った意見をまとめたもの）を基に、6年児童はみんなに共通するゆめをまとめました。

「湯山小学校はすてきな学校だけど、外観からはあまり目立たない。校舎の壁や体育館の壁に、みんなで協力して描いた絵の看板を掲示し、学校をきれいにしたい。そして、これからの湯山小学校の児童や来校者が、学校外から足を一歩踏み入れようとするときに、すてきな学校だなと思ってもらいたい。」

このゆめを実現するために、6年生がアイデアを練り合いました。中央に、平成8年度卒業生の「ゆめマーク」を配置し、令和のゆるきゃら、そして、創立100周年の昭和48年に生まれた校訓「よく学び よく遊べ」を両脇に、竹や桜や豊かな自然に抱かれて6年生一人一人が学ぶ姿・遊ぶ姿が表現しました。松山市教育委員会・湯山地区まちづくり協議会・湯山地区社会福祉協議会・日本教育公務員弘済会愛媛支部の御支援を受け、6年生の原画を加工した看板は、正門前の校舎の壁と、体育館の西側の壁に、設置されました。卒業前に仲間とともにゆめの実現をした体験が、湯山小学校を旅立っても心豊かにたくましく生きる活力につながることでしょう。今後、この卒業製作物を見る後輩たちのゆめに向かう力にもつながることでしょう。

6年生は、「ウクライナの子どもにおもちゃ」を送る卒業プロジェクトにも取り組みました。6年生の発信で、全校児童からおもちゃを集め、また、全学年の保護者の皆様に、PTA・おやじの会による募金活動にも協力していただき、2月6日におもちゃは、湯山小学校を後にしました。テレビでは、連日、ウクライナのニュースが流れています。あの後、あのおもちゃはどうなったのでしょうか。中矢匡先生にお電話してみました。すると、「最低でも2か月はかかっています。中継地のポーランドにも、まだ届いていません。湯山小学校のみんなからのおもちゃが中継地のポーランドに到着したという連絡が入ったら、お知らせします。」とのこと。6年生おかげで、優しさ・平和を大切に思う気持ちが全校に広がったこと、とても尊いことだと思います。

記念すべき151周年目オンリーワンの6年生、バトンを受け取る在校生。ともに大きく羽ばたいてほしいと思います。

〈一年間の思い出〉

| | |
|------|--|
| 1年生 | はじめぜんぜんできなかったなわとびが、いっぱいとべるようになりました。ともだちもたくさんできて、えん足もたのしかったです。きゅうしょくも、まい日おいしかったです。 |
| 2年生 | 運動会で「チェェコリ玉入れ」をしたのが一番心にのこっています。元気なダンスができて、みんなをえ顔にできました。九九もしっかりおぼえて、がんばれた2年生でした。 |
| 3年生 | わたしの思い出は、遠足です。こうぼうだいしぞうは、近くで見るとすごく大きいなと思いました。公園では、長なわで遊びました。長なわは、苦手だけど、みんなと遊べて楽しかったです。 |
| 4年生 | 砥部焼の絵付け体験が心に残っています。10歳の記念として心を込めて絵付けをしました。焼き上がった砥部焼を見てとても嬉しくなりました。ずっと大切に使いたいです。 |
| 5年生 | 6年生を送る会で劇をして、たくさん笑ってもらえたことがうれしかったです。来年度は、高学年としての役目を果たし、6年生からもらった湯山小学校の伝統を受けついでいきたいです。 |
| 6年生 | 最高学年として、湯山小のみんなのお手本になるように様々な学校行事に全力で取り組みました。みんなと協力して、達成感を味わうこともできました。中学校でも全力で頑張ります。 |
| ささのこ | 6年生を送る会がありました。1年生のおどりがかわいかったです。ビデオでなつかしい先生に会えたのがうれしかったです。6年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。がんばってください。 |